九州大学学術情報リポジトリ Kyushu University Institutional Repository

[0021]九州大学生体防御医学研究所年報 : 2006年

https://doi.org/10.15017/15429

出版情報:九州大学生体防御医学研究所年報. 21, 2007-05. Medical Institute of Bioregulation,

Kyushu University バージョン: 権利関係:

生体防御医学研究所セミナー

第465回 平成18年4月13日(木)

Dr. J. David Lambeth

(Professor of Pathology and Laboratory Medicine, Emory University)

^r Evolving Views of Noxes and the Biology of Reactive Oxygen Species _J

(21世紀 COE セミナー)

第466回 平成18年4月17日(月)

菅野 純(国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター)

「マイクロアレイや定量 PCR から細胞当たりのmRNA コピー数を得る Percellome 法の概略と生物研究への応用」

第467回 平成18年4月19日(水)

山本 雅裕 (大阪大学微生物病研究所)

「ユビキチン関連分子 UBC13 の自然・獲得免疫系における役割」

第468回 平成18年6月14日(水)

Steven L. Reiner, M.D. (Professor, University of Pennsylvania)

^r Programming Diverse T cell Fates During Immunity _J

第469回 平成18年7月27日(木)

片山 義雄 (神戸大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 特定助手)

「旅する造血幹細胞とその水先案内人」

(造血幹細胞の骨髄からの出入りのメカニズム)

第470回 平成18年8月16日(水)

玉田 耕治 (Assistant Professor, Johns Hopkins University School of Medicine)

Lightning the road from bioinformatics to clinical immunology

第471回 平成18年8月25日(金)

Dr. Bernd Pulverer (Chief Editor, Nature Cell Biology)

^r Publishing in the Nature Journals _J

第472回 平成18年10月19日(木)

Dr. Marco Prinz (Institute of Neuropathology, Georg-August-University, Germany)

^r Innate immune mechanisms in the brain during autoimmunity _J

第473回 平成18年10月16日(月)

Russell, Stephen J. M.D., Ph.D.

(Director, Molecular Medicine Program, Mayo Clinic College of Medicine, USA)

^r Virus therapy for multiple myeloma _J

第474回 平成18年11月2日(木)

Dr. Duong P. Huynh (David Geffen School of Medicine at UCLA, Los Angeles, USA)

^r Genes and Proteins: Important Factors in Parkinson Diseases? J

第475回 平成18年11月8日(水)

須田 年生 (慶応義塾大学医学部 発生・分化生物学 教授、生医研 客員教授) 「造血幹細胞の分裂制御」

第476回 平成19年2月6日(火)

由良 敬(日本原子力研究開発機構 システム計算科学センター シミュレーション 技術開発室 量子生命情報解析チーム 研究副主幹/チームリーダ、

CREST・チームリーダ、生医研 客員助教授)

「タンパク質立体構造情報と分子進化情報にもとづくRNA結合部位の推定」

第477回 平成19年2月8日(木)

鈴木 聡 (秋田大学医学部 構造機能医学講座 分子医科学分野・教授) 「PTEN/PI3キナーゼ経路による生体制御」

吉田 裕樹 (佐賀大学医学部 分子生命科学講座・教授) 「インターロイキン27による多面的な免疫制御機構の解析」

第478回 平成19年2月9日(金)

宮脇 敦史(理化学研究所脳科学総合研究センター 細胞機能探索技術開発チーム・チームリーダー)

「NEW FLUORESCENT PROBES AND NEW PERSPECTIVES IN BIOSCIENCE」

今村 健志(財団法人癌研究会 癌研究所生化学部・部長) 「癌の増殖・転移におけるTGF- シグナルとインビボイメージング」

夏目 徹(独立行政法人産業技術総合研究所・生物情報解析研究センター・ NEDOケミカルバイオロジープロジェクト・チームリーダー, 生医研客員教授)

「日本のケミカルバイオロジー」

第479回 平成19年2月6日(火)

Waliul Islam Khan, MD. PhD.

(Assistant Professor, Department of Medicine, McMaster University, Canada)

^r Gut motility and gut inflammation: studies on immunological control and modulation in experimental models _J

第480回 平成19年3月15日(木)

谷内 一郎(理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター 転写制御研究チーム チームリーダー)

「胸腺細胞分化を制御する転写因子ネットワーク」